



2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月9日
東・名

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所
コード番号 7975 URL <http://www.lihit-lab.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中宏和
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 早川大介 (TEL) 06(6946)2558
四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	7,425	△2.7	364	△32.8	362	△39.1	236	△36.2
2019年2月期第3四半期	7,633	2.1	542	5.3	595	13.4	370	53.6

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 164百万円 (△56.7%) 2019年2月期第3四半期 380百万円 (10.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	139.30	—
2019年2月期第3四半期	218.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	13,268	9,356	70.5
2019年2月期	13,395	9,294	69.4

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 9,356百万円 2019年2月期 9,294百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2020年2月期	—	0.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年2月期の期末配当の内訳 普通配当50円00銭 特別配当10円00銭

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	10,300	2.2	500	△28.9	500	△32.4	350	△25.3
								206.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期3Q	1,907,850株	2019年2月期	1,907,850株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	210,945株	2019年2月期	210,801株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期3Q	1,696,977株	2019年2月期3Q	1,697,162株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年3月1日～2019年11月30日）における我が国経済は、個人消費や設備投資、公共投資などの内需が堅調に推移したことにより緩やかな景気回復基調にありましたが、足許では消費増税や台風被害に加えて、日韓関係悪化に伴うインバウンド需要の下振れ等により景気の停滞感が強まっております。また、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題等に伴う輸出の伸び悩みで企業業績は低迷が続いており、対立が更に深刻化することになれば、景気後退リスクが一段と高まってくるものと予想されます。

当業界におきましては、企業のペーパーレス化や少子高齢化を背景とする構造的な需要減退が着実に進んでいることから、女性や若年層をメインターゲットとした個人需要の取り込みや量販店・通販・海外マーケットへの販売チャネルのシフト等の取組が更に強まっていく状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは事務用品等事業におきまして「良い品はお徳です」をモットーに、お客様に喜ばれる製品・機能性やデザイン性に優れた魅力ある製品の開発を積極的に進め、売上の拡大に努めてまいりました。

主な新製品としましては、シリコン素材でかわいい動物柄の「SMART FIT Puni Labo（スマートフィットプニラボ）シリーズ」やワーキングシーンをスマートにサポートする「SMART FIT ALTNA（スマートフィットオルトナ）シリーズ」が新アイテムを拡充させて売上を伸ばしたほか、第28回日本文具大賞の機能部門優秀賞を受賞した「AQUA DROPs（アクアドロップス）ドキュメントファイル」、パステルカラーの「Pastelilloツイストノート」等もご好評をいただきました。

また既存製品では、机収納シリーズの「机上台」、「AQUA DROPs（アクアドロップス）クリップファイル」、「ルーパーファイル」等が引き続き堅調に売上を伸ばしました。

しかしながら事務用品等事業につきましては、このような新製品の積極的な投入が売上に貢献したものの、想定額には至らなかったことから既製品の落ち込みをカバーし切れず、前年同期比減収となりました。

一方で不動産賃貸事業につきましては、テナントの入居率が良好な水準で推移するとともに、賃料単価の確保にも努めたことにより、前年同期比増収となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,425百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

利益面につきましては、売上の減少に加えて原材料や外注製品の仕入価格が上昇したことにより、営業利益は364百万円（前年同期比32.8%減）、経常利益は362百万円（前年同期比39.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は236百万円（前年同期比36.2%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高（百万円）	構成比（%）	前年同期比増減（%）
フ ァ イ ル	2,165	29.2	△6.1
バインダー・クリヤーブック	1,535	20.7	△4.6
収 納 整 理 用 品	2,628	35.4	4.0
そ の 他 事 務 用 品	766	10.3	△14.3
事 務 用 品 等 事 業	7,095	95.6	△3.3
不 動 産 賃 貸 事 業	329	4.4	11.5
合 計	7,425	100.0	△2.7

【事務用品等事業】

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

<ファイル部門>

クリヤーホルダー、リングファイル、パンチレスファイル、ルーパーファイル、クリップファイル等を主要製品とするファイル部門の売上高は2,165百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

<バインダー・クリヤーブック部門>

クリヤーブック、クリヤーポケット、ツイストノート、多穴リングバインダー等を主要製品とするバインダー・クリヤーブック部門の売上高は1,535百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

<収納整理用品部門>

ペンケース、机上台、クリップボード、クリヤーケース、バッグ、デスクトレイ等を主要製品とする収納整理用品部門の売上高は2,628百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

<その他事務用品部門>

オートパンチ、スライドカッター、コンパクトホッチキス、ペーパードリル、カルテフォルダー等を主要製品とするそ

の他事務用品部門の売上高は766百万円（前年同期比14.3%減）となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は7,095百万円（前年同期比3.3%減）となり、営業利益は257百万円（前年同期比46.5%減）となりました。

【不動産賃貸事業】

不動産賃貸事業は、売上高は329百万円（前年同期比11.5%増）となり、営業利益は106百万円（前年同期比76.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ127百万円減少し、13,268百万円となりました。これは主として投資有価証券等の固定資産が減少したことによるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ189百万円減少し、3,911百万円となりました。これは主として電子記録債務、未払法人税等が減少したことによるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ62百万円増加し、9,356百万円となりました。これは主として、利益剰余金等が増加したことによるものであります。その結果、自己資本比率は70.5%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期通期連結業績予想につきましては、2019年9月30日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。詳細につきましては、2019年9月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,271,973	1,935,187
受取手形及び売掛金	1,698,606	1,458,166
電子記録債権	301,893	331,412
商品及び製品	1,943,797	1,637,071
仕掛品	134,250	103,680
原材料及び貯蔵品	622,691	535,464
その他	111,215	85,012
貸倒引当金	△3,987	△3,619
流動資産合計	6,080,439	6,082,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,062,662	2,528,577
機械装置及び運搬具(純額)	317,034	271,528
土地	2,925,180	2,925,180
その他(純額)	524,900	106,246
有形固定資産合計	5,829,778	5,831,533
無形固定資産	27,471	20,177
投資その他の資産		
投資有価証券	1,055,175	945,530
その他	408,253	394,644
貸倒引当金	△5,312	△5,680
投資その他の資産合計	1,458,116	1,334,494
固定資産合計	7,315,366	7,186,205
資産合計	13,395,806	13,268,581

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	362,553	285,788
電子記録債務	378,472	246,960
短期借入金	299,000	332,000
未払法人税等	149,187	14,590
賞与引当金	135,887	169,327
役員賞与引当金	13,500	18,825
その他	381,919	457,808
流動負債合計	1,720,520	1,525,301
固定負債		
長期借入金	858,000	892,000
繰延税金負債	168,780	147,271
役員退職慰労引当金	177,852	182,880
退職給付に係る負債	905,798	893,414
その他	270,413	270,813
固定負債合計	2,380,844	2,386,379
負債合計	4,101,365	3,911,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	5,942,848	6,077,415
自己株式	△400,572	△400,846
株主資本合計	8,784,138	8,918,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	472,073	395,497
繰延ヘッジ損益	96	15,523
為替換算調整勘定	111,489	88,420
退職給付に係る調整累計額	△73,356	△60,970
その他の包括利益累計額合計	510,302	438,471
純資産合計	9,294,441	9,356,901
負債純資産合計	13,395,806	13,268,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	7,633,180	7,425,256
売上原価	4,916,743	4,899,847
売上総利益	2,716,436	2,525,408
販売費及び一般管理費	2,173,969	2,160,803
営業利益	542,466	364,605
営業外収益		
受取利息	81	89
受取配当金	12,878	13,012
受取保険金	9,167	10,924
為替差益	31,080	—
雑収入	12,150	8,192
営業外収益合計	65,356	32,218
営業外費用		
支払利息	2,985	5,270
支払手数料	4,581	4,954
為替差損	—	13,284
雑損失	4,492	10,386
営業外費用合計	12,060	33,896
経常利益	595,763	362,927
特別損失		
固定資産廃棄損	5,012	7,866
特別損失合計	5,012	7,866
税金等調整前四半期純利益	590,750	355,060
法人税等	220,209	118,671
四半期純利益	370,541	236,389
親会社株主に帰属する四半期純利益	370,541	236,389

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	370,541	236,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,330	△76,575
繰延ヘッジ損益	57,565	15,426
為替換算調整勘定	△23,643	△23,068
退職給付に係る調整額	15,033	12,385
その他の包括利益合計	9,625	△71,831
四半期包括利益	380,166	164,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	380,166	164,558
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,337,644	295,535	7,633,180	—	7,633,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,295	1,295	△1,295	—
計	7,337,644	296,831	7,634,475	△1,295	7,633,180
セグメント利益	481,918	60,548	542,466	—	542,466

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,095,684	329,572	7,425,256	—	7,425,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,201	1,201	△1,201	—
計	7,095,684	330,773	7,426,458	△1,201	7,425,256
セグメント利益	257,761	106,844	364,605	—	364,605

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。